

Les tablettes de cette semaine #46



2月も気づくともう中旬・・・先週も少し書きましたが、チョコレートのイベントやセミナーなどが目白押しの毎日、皆様はきちんと美味しいチョコレートを召し上がっていらっしゃいますか。

情熱大陸では、カカオハンター小方真弓さんの特集です。ということで、今回ようやく一般発売となった小方さんのチョコレートについて少し書いてみようと思います。今回は赤いパッケージのシエラネバダ(64%)と紫のパッケージのシエラネバダ(52%)について。

まずパッケージの色。これは、チョコレートの味をイメージした色とのこと。同じシエラネバダでも、赤と紫のちがいが。パッケージを開けると内側には産地と、カカオの情報。そしてチョコレートの香りや感じられる味などの情報が、スペイン語でぎっしりと書かれています。そしてチョコレートが入れているのは熱を遮断する銀色のパッケージ。香りもしっかり閉じ込められています。まず赤のほうは、視覚情報から入るせいか、フランボワーズなどの赤い果実を思い出します。少しずつはちみつ香りも鼻腔に抜け、長くなぐ余韻が残ります。紫のほうは、カカオ分が52%と高めミルクチョコレート。香りは赤のほうと似ていて、赤い果実の香りに少し乳感がプラスされます。口内には、牛っぽくない乳味がひろがり、しっかりと酸味も残っていて、カカオの特徴がそのまま形として残る1枚です。こちらは、赤よりも早くはちみつ香がでてきて、そしてそれが長く続く印象です。小方さんが手がけるチョコレートは、生きたチョコレート、生き活きたチョコレートで、業界全体を明るくしてくれる気がしています。

小方さんのチョコレートについて、そして小方さんについては書きたいことがありすぎて、言葉がうまくまとまりません。もっと奥深くまでこのチョコレートについて味わい、いろいろなことを感じ、言及したいのですが・・・ひとまず情熱大陸を見ることにします！

